

平成 23 年度学校評価書（宝木小学校）

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

（1）基本目標

心身共に健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる判断力をもち、心豊かにたくましく生きる児童を育成する。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

- たくましい子 （心身共に健康で、強い意志をもって粘り強く行動する）
- よく学ぶ子 （基礎学力を確実に身に付け、自ら考え、主体的に学習する）
- やさしい子 （相手を尊重し、思いやる心を大切にしながら、積極的に他にかかわるとともに、ルールやマナーを守り、状況に応じて適切に判断・行動する）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「家庭・地域社会との連携・協力のもとに、教育目標達成を目指す追究活動の推進」

教育目標の実現を目指して、目標の明確化・共有化を図り、進捗状況評価や学校評価の実施、及び、学年主任会や課題解決のための小組織を中心とする校内体制の確立により、明確な方向性をもって一貫性のある教育活動を組織・展開する。また、地域協議会を中心として家庭や地域社会とも、目標や課題の共有化に努め、教育環境の整備・充実を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点）

- （1）教育目標の達成を目指し、一貫性のある教育活動を展開する。
 - ・全教職員の共通理解、課題意識の共有化
 - ・目標に照らし成果を確認しながらの教育活動の工夫改善
 - ・6年間の見通しをもった学年ごとの目標の設定と達成
- （2）児童の実態及び学校や地域社会の実情等を踏まえ重点化を図って、成果の見える取組を展開する。
 - ・健康・体力づくりの充実
 - ・日常の学習指導の一層の充実
 - ・児童の主体性を発揮させる活動の充実
 - ・人とかかわる力や社会性（規範意識）を培う活動の充実
- （3）オープンで柔軟、効果的、効率的な学校運営に努める。
 - ・学校課題に関する検討組織の設置
 - ・学校事務の省力化
- （4）課題や問題、事故等に対しては、組織的かつ迅速に対応する。
 - ・校務運営委員会・学年会・校内対策委員会の充実
 - ・学年、ブロック体制の強化
- （5）精神的なゆとりの創出、対外的な接遇の向上に努める。
 - ・意思疎通、支え合う職場風土づくり
 - ・あいさつの励行
- （6）家庭や地域社会と目標や課題の共有化を図り、相互の円滑な連携・協力を努める。
 - ・魅力ある学校づくり地域協議会との連携（学校支援ボランティア）
 - ・オープンスクールの実施など家庭と地域社会を巻き込んだ教育環境づくり

4 今年度の重点目標（短期的視点）

（1）学校運営

家庭・地域社会との連携・協力のもとに、教育目標達成を目指す追究活動の推進

（2）児童生徒指導

相手を尊重し、思いやる心を大切にしながら、積極的に他にかかわるとともに、ルールやマナーを守り、状況に応じて適切に判断・行動する児童の育成

（3）健康・体力

健康・体力に関心をもち、目標を決めて自ら健康・体力の向上に取り組む児童の育成

（4）学習指導

基礎・基本を身に付け、自ら考え自分の考えを伝え合う児童の育成

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（評価指標の〔全〕は、全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 ＜児童アンケート＞自分は、今の学校が好きである→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である→80%以上	日課等の見直しを行い、係活動、共遊、クラブ・委員会活動等の時間と場を保障して、児童の主体的な活動を推進する。	B	【達成状況】 A 1 児童の肯定的回答 87.6% 保護者の肯定的回答 86.2% A 2 児童の肯定的回答 95.5% 保護者の肯定的回答 82.8% A 3 児童の肯定的回答 71.7% 保護者の肯定的回答 72.0% A 4 児童の肯定的回答 90.1% 保護者の肯定的回答 67.3% A 5 児童の肯定的回答 88.3% 保護者の肯定的回答 93.3%
	A2 教職員は、組織の一員として誠実で熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】 ＜児童アンケート＞先生方は、大切なことをしっかり教え、熱心に指導してくれる→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞教職員は、あいさつや応対が丁寧で誠実である→80%以上	学校経営への参画意識を高め、主体的な職務遂行に努める。 全員参加の授業研究を一層推進するとともに、家庭・地域等に積極的に情報を発信したり、交流の機会を設けたりするよう努める。	B	【次年度の方針】 A 1について ここ数年、日課や行事の在り方の見直しを実施し、児童の主体的な活動の時間を効果的に確保するよう努めてきた。一定の評価が得られているので、継続していく。
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している→80%以上	宝木小児童の約束をもとに、生活目標を設定し、目標達成に努める。また、家庭と連携し、指導の徹底に努める。 校内の指導方針の明確化と家庭や地域社会との連携強化に努め、児童の規範意識の向上を図る。	A	A 2について 教職員の学校経営参画意識や指導力を高めるよう、課題ごとの検討組織体制を充実させるとともに、一人一授業の実践を継続する。また、保護者・地域住民に、本校の取組について積極的に情報を発信していく。 A 3について 教職員の共通理解のもと、同一歩調で指導に当たるなど校内体制の充実を図りながら児童指導に努めるとともに、指導方針を明確にした資料等を配付し、家庭教育との連携を図る。
	A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 ＜児童アンケート＞先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる→80%以上 ＜保護者アンケート＞教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細かな指導をしている→80%以上	学習の基礎・基本を身に付け、児童が主体的に学び合う授業の実現を目指して、日常の授業改善に努める。 少人数学習やTTなどの授業形態の工夫に努める。 授業参観やオープンスクール等を利用して、学校としての取組を積極的に紹介する。	A	A 4について 校内研究授業を通して、教員の一層の指導力向上に努めるとともに、学ぶ姿勢や習慣について教員の共通理解を深め、発達段階に即した系統的な指導ができるよう「一人一授業」などの機会を設け一層努力する。 また、授業参観やオープンスクール等で積極的に授業中の取組を公開し、保護者の理解・協力を得られるようにする。

学 校 運 営 の 状 況	A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている〔全〕 【数値指標】 ＜児童アンケート＞自分は、学校での生活や様々な活動が充実している→80%以上 ＜保護者アンケート＞学校の日課、授業、行事などは、適切に実施されている→80%以上	学校目標達成のために教育活動の目的やねらいを明確にし、保護者や地域住民の理解も得ながら、効果的な教育課程の実施に一層努める。	B A5について 児童一人一人が主体的に活動できるよう工夫・改善してきた日課や行事等であるので、点検しながら実施していく。また、教育活動の目標の明確化に努め、保護者や地域住民にも理解を得ていく。
	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕 【数値指標】 ＜保護者/地域住民アンケート＞学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している→80%以上	地域協議会との連携を深め、引き続き地域に根ざした学校づくりに努める。 積極的に保護者・地域への情報発信を行うため、学校・学年日より、保健・給食日より等の工夫改善を行う。	A 【達成状況】 A6 保護者の肯定的回答 93.3% A7 児童の肯定的回答 84.2% 保護者の肯定的回答 81.5% A8 児童の肯定的回答 80.9% 保護者の肯定的回答 66.0% A9 保護者の肯定的回答 61.0% B1 保護者の肯定的回答 81.5%
	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕 【数値指標】 ＜児童アンケート＞自分は、地域や企業の方々と一緒に活動したり勉強したりすることで、学習が充実し楽しい→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞本校の保護者は、学校の教育活動などに協力的である→80%以上	地域コーディネーターと連携して、各教科等、各学年に応じて、積極的に地域の教育力を生かすことに努める。	A 【次年度の方針】 A6について 今後の学校教育の動向も見極めながら、地域協議会の組織をさらに発展的に見直して、充実・強化に努める。 また教職員も、地域についての理解を深め、効果的に情報収集・発信ができるようにする。 A7について 地域社会や保護者の教育力を授業や校内環境整備へのサポートに積極的に生かし、学校教育の充実を図る。また、地域学校園の取組について機会を捉えて説明するとともに、地域と連携した教育活動の実際についても理解を深められるようにする。
	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 ＜児童アンケート＞学校は、清掃がしっかり行われ、学習しやすく気持ちのよい環境である→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である→80%以上	清掃の仕方を理解させ、自分たちできれいにする意識を高める指導に努める。 児童に働きかける環境の在り方について企画検討チームを中心に検討し、具体化を図る。 毎月の安全点検等を十分の行い、市とも連携をとりながら修繕・補修を迅速に行う。	B A8について 校舎内外の修繕に伴う工事が終了したので、清掃活動の指導の工夫に一層努める。 また、潤いのある環境づくりについては、引き続き児童のアイディアを生かしながら、有効な方策を実施していく。
	A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている〔全〕 【数値指標】 ＜保護者アンケート＞学校は、教職員が互いに指導力向上に取り組み、指導の工夫・改善に努めている→80%以上	校内研修体制・方法等の改善に努め、「基礎・基本を身に付け学び合う児童の育成」を目指して、校内研修を全教員で行う。	A A9について 本年度の研修をもとに課題を絞り込み、課題追究に努めるとともに、より効力感のある授業研究会となるよう工夫・改善に努める。状況に応じて地域学校園内への公開も検討する。

		B1 家庭・地域社会との連携・協力をもとに、教育目標達成をめざしている。【全】 ＜保護者アンケート＞学校の様子がよく分かり、また伝える場がある。→80%以上	各種たよりやリーフレットの配付、オープンスクール等を通して積極的に学校の考えを発信する。また、機会を捉えて家庭・地域からの意見も聴取するよう努める。	B	B1について 授業参観・オープンスクールの内容を工夫し、保護者や地域住民の希望に応えとともに、学校の取組に理解が深まるようにする。また、目標達成の状況等についても十分説明を行う。
教育活動の状況	生	A10 元気にあいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。【全】 【数値指標】 ＜児童アンケート＞・児童は、あいさつをしている 児童は、きちんとした言葉づかいや返事をしている→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞・児童は、あいさつをしている→80%以上	児童の問題意識を喚起し、児童主体のあいさつ運動を工夫する。 場に応じた適切な言葉づかいについての、組織的、継続的な指導の具体化に努める。	A	【達成状況】 A10 児童の肯定的回答 75.6% 64.0% 保護者の肯定的回答 48.3% 45.9% 地域住民の肯定的回答 80.0% 86.6% B2 児童の肯定的回答 88.8% 【次年度の方針】 A10について あいさつ・言葉づかいについては、全教職員による校内における児童への意識付けと指導の徹底、家庭と連携した取組、環境づくり等の指導を継続する。
	活	B2 相手を尊重し、思いやる心を大切にしながら人と関わっている。【全】 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、友だちを大切にしている→80%以上	異学年集団活動、クラブ活動等の多様な集団活動を意図的・計画的に設け、その中で自分たちで話し合い、問題を解決していけるよう指導に努める。	B	B2について 児童が、日常生活の中で思いやりの心を身に付けていけるよう、異学年集団活動などの様々ななかかわりの場を積極的に設定して活動する。
	健康・体力	A11 毎日朝ごはんを食べ、好き嫌いのない食事をしている。【全】 【数値指標】 ＜児童アンケート＞自分は、好き嫌がなく食べている→80%以上 ＜保護者アンケート＞自分の子どもは、好き嫌がなく食事をしている→80%以上 B3 自ら目標をもち、主体的に体力作りに取り組んでいる 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童（生徒）は、休み時間や放課後などに積極的に運動している→80%以上	昨年度検討した新「元気あっぷカード」の実践を通して、保護者と共に、児童が食を意識できるように努める。 「元気あっぷノート」を有効に活用し、児童が自分の目標をもって体力づくりに取り組む指導に努める。	B	【達成状況】 A11 児童の肯定的回答 76.8% 保護者の肯定的回答 84.0% B3 児童の肯定的回答 86.0% 【次年度の方針】 A11について 「元気あっぷカード」を継続活用し、家庭と連携した食育指導の推進にさらに努めていく。 B3について 運動教具や運動環境の改善・充実を図るとともに、「元気あっぷノート」の一層効果的な活用法について、教職員の共通理解を深め、児童の体力づくりを推進する。

本校の特色・課題等	A12 授業に熱心に取り組む、基本的な学習態度・技能が身に付いている。 【全】 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、進んで挙手し、大きな声で発表するなど授業に対して積極的に取り組んでいる→80%以上	学習のきまりを明確化し、日常の授業における具体的な場面を捉えて、指導の徹底を図る。 授業の中に積極的に考える時間や発表の場を設定し、互いに学び合い、高め合う授業の実現に努める。 家庭学習についてもきめ細やかに支援を行い、家庭と一体となって習慣の定着に努める。	【達成状況】 A12 児童の肯定的回答 72.4% B 4 児童の肯定的回答 75.6% 保護者の肯定的回答 69.9% 【次年度の方針】 A 1 2について 発達段階に即して作成した学習のきまりについて、時期を決めて指導を徹底し、児童の意識を一層高める。 家庭と連携して、家庭学習の一層の定着に努める。 B 4について 「話す・聞く」についての指導を一層重視し、話し合い活動の場を日常の授業の中で積極的に設定する。
	B4 自ら考えたり、友だちと話し合ったりしながら、問題を追究しようとする【全】 【数値指標】 ＜児童アンケート＞児童は、先生や友達の話をよく聞くなど落ち着いて学習している→80%以上 ＜保護者アンケート＞児童は、自分の考えを持てるようになってきている。→80%以上	日常の授業に「話し合い活動」を積極的に設定し、お互いに認め合う環境の中で児童が安心して自分の考えをもち、発表しながら、相互に高め合うよさが感じられる授業を追求する。	A
	B5 目指す児童像実現のための、本校3プロジェクト（体力アップ・学習力アップ・マナーアップ）が主体的・積極的に推進されている。【全】 【数値指標】 ＜教員アンケート＞主体的にプロジェクトに関わり、創造的に改善に取り組んでいる。→80%以上 ＜保護者/地域住民アンケート＞学校は、教育目標達成のために工夫している。→80%以上	課題ごとに企画検討チームによる取組を積極的に展開し、教員が主体的に創造的な改善策を提案しやすいよう、環境整備に努める。	【達成状況】 B 5 教員の肯定的回答 87.1% 保護者の肯定的回答 58.0% 地域住民の肯定的回答 73.3% 【次年度の方針】 B 5について 3プロジェクトの教育活動が定着してきているので、今後、さらに活動の改善・充実を図り、教職員が創造的に改善に取り組む姿勢や学校経営参画意識を高められるよう努める。 また、学校の取組について保護者に情報の発信をしていく。 B

〔総合的な評価〕

今年度の評価を指標ごとに見ると、児童のルールやマナー、あいさつや言葉づかいに関する内容、学習環境や情報の積極的な発信に関する内容などが、低い傾向にある。その中でも、あいさつや言葉づかいについては、昨年度と比較すると、ほぼ同様に引き続き一層の改善が求められる。一つの指導事項について、職員が「いつでも」・「どこでも」・「だれでも」同一歩調で指導することによって、子どもは変容すると考える。数多くの指導事項を意識化するのではなく、「朝のあいさつ」など一つに絞り込み実践していく必要があると思われる。

学校環境については、北校舎の天井からの雨漏り、プールの老朽化による児童のけが、トイレの臭気などの問題点が評価となっていると考えられ改善が必要である。しかし、一方で清掃指導に力を入れ、児童と教職員の評価は、上がっている。

学校の雰囲気、教職員の姿勢、教育活動の実施等については、比較的良好な評価結果となっている。

児童の生活態度に関する教職員の評価は、児童の自己評価とは異なり、今回も厳しい評価となる傾向が見られる。あいさつについては、改善が見られたが、定着するまで継続した指導が必要である。先述した様な具体策をもとに次年度の方法を検討していきたい。言葉づかいの指導については、人権週間やいじめアンケートの結果を活用し、指導に努めてきたが、十分に改善できていない。児童も含めて、教職員と保護者間で課題の一層の共有化を進め、それぞれの立場からさらなる課題解決に努める必要があると思われる。

危機管理的側面から緊急時の対応など、学校教育を取り巻く様々な変化・要因を想定、考慮して、より効率性の高い体制づくりと計画的な運営が求められる。

6 学校関係者評価

学校の教育活動に、地域の方がボランティアとしてかかわることが多くなり、児童の指導に役立っている。これは、地域コーディネーターの方の活動が、定着・充実してきたためと思われる。今後、一層の連携を図り、地域の教育力を生かしていくことが必要である。

今年度も児童や教職員と比べ保護者の肯定的評価が低くなっている。これは、学校の状況を十分に理解しているとはいえないからではないだろうか。学校は、保護者に対して一層情報提供の努力・工夫が求められる。情報提供を通して、一層学校と家庭の連携を強化し、課題解決に向けて具体的な対応を進めていく必要があると考える。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

総合的な評価としては、課題について具体策を見直すとともに、組織体制についても検討して一層の改善に努める必要がある。また、取組の基盤として、今後も教職員の学校経営参画意識の高揚、地域社会との連携に努めることも重要である。

地域との連携した取組としては、新しい形での仕組みを取り入れ、児童の指導・支援を充実させていきたい。